

山口高商改称30周年

30周年記念祝賀式

昭和10(1935)年に山口高商は改称30周年を迎え、盛大な式典や各種記念事業を行った。講堂では祝賀式が盛大に行われた。来賓には九州帝国大学総長や公爵毛利元昭代理、山口県知事、京都帝国大学法学部長らを招き、参加者は約1,300人にもなった。祝辞や祝電数百通を披露し、改称30周年記念歌を合唱した。10年以上の勤続者に対し表彰状を授与し、鳳陽会からは記念品の贈呈が行われた。

また、松本校長胸像除幕式や対級試合優勝旗贈呈式、プールの竣工式が行われた。

慰霊祭・日本経営学会大会

5月8日の開校記念日には、講堂で式典を挙げ、本校関係物故者慰霊祭を野田神社宮司齊主の下に行い、香山墓所に参拝した。同時に上田鳳陽と在職在学中の物故者の追悼会も営んだ。

また、記念行事の一つとして、日本経営学会山口大会を招致開催した。公開講演会や宇部市における「工業統制問題」に関する研究懇談会、本校における「商業学最近の問題」に関する研究報告会を開催した。



慰霊祭

各種展覧会

東亜経済展覧会、沿革史展覧会、図書館展覧会、国防展覧会、書道展覧会、ポスター展覧会、土産品展覧会など様々な展覧会が行われた。土産品展覧会では山口市を中心とする名産品を集め、販売も行った。

(右)東亜展のポスター



土産品展覧会



ポスター展覧会

記念大運動会・野球リーグ戦

改称30周年記念大運動会は山口高商運動場にて行われた。トラック100m決勝、砲丸投げなど、各種の競技が行われた。趣向を凝らした仮装行列は祝賀気分を盛り上げ、特に2年AB組の「伊江紛争」は大変好評だった。

また、長崎と大分の高商を迎え、三高商の野球リーグ戦を行った。山口高商は一勝一敗の成績で、長崎高商が優勝した。



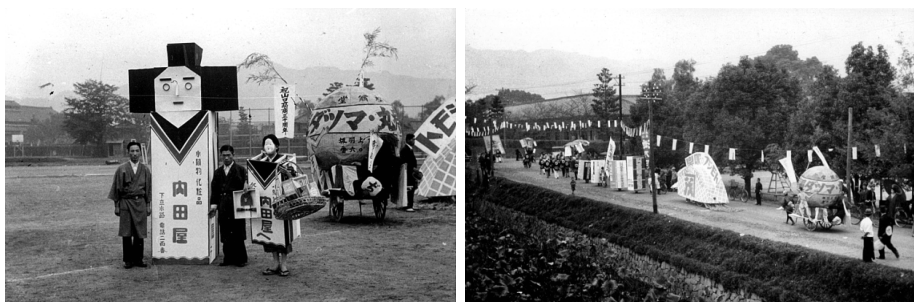
2年AB組による「伊江紛争」

1935年～36年にかけて起きたイタリアとエチオピアの戦争を模した仮装行列

提灯行列・広告祭

市内の諸学校や一般市民の参加を得て、提灯行列を行った。市内を行進し、山口高商運動場へ。「祝山口高商三十周年」の煙火があがり大変盛り上がった。

また、山口市商工会は広告祭を挙行事、各種商店の商品を広告する仮装行列の一隊が市民の目を驚かせた。

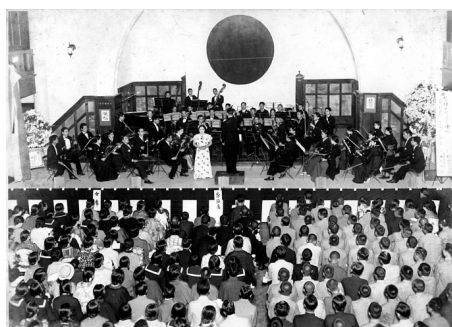


(上) 広告祭ポスター
(左) 広告祭の様子

大音楽会

東京音楽学校150名の大音楽会が高商講堂で開催され、ピアノ独奏、ピアノトリオ室内楽、ソプラノ独唱、歌合戦序奏などが記念事業の最後を飾った。

大音楽祭の様子



記念出版

記念として出版事業も行った。記念論文集や、日本経営学会山口大会による経営学論集「工業統制問題・商業学最近の問題」の出版の他、沿革史編纂のために藩学から現在に至る学事の進展、制度改変の跡を調査し、山口高商の校史を出版した。

『山口高等商業学校沿革史』

